

丹南農林だより



謹んで新春のお慶びを申し上げます

皆さまには御家族おそろいで希望あふれる晴れやかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年一年間、丹南地区の農林業の推進にあたりまして、御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、県の「福井新元気宣言」の一つにあります「元気な産業」を着実に実現していくため、当事務所では、「ふくいの農業・農村再生計画」に基づいた「福井コシヒカリ復活プロジェクト」や、収益性の高い「園芸・畜産の元気回復プロジェクト」など5つのプロジェクトを実行するとともに、安全・安心な食づくりと環境に調和した農業を積極的に推進してまいりました。

また、農業農村整備におきましては、農業用河川工作物応急対策事業「松ヶ鼻地区」のストックマネジメント方式による大規模頭首工の改修や、かんがい排水事業「武生承水路地区」の整備を進めるとともに、農村環境にも配慮した農業生産基盤の整備を進めてまいりました。

林業関係では本年6月に、「第60回全国植樹祭ポスト大会」が越前市で開催されることとなり、これを契機として森林や緑を守り育てる県民運動の輪がさらに広がることを期待しております。

本年も、昨年にも増して管内の市町、関係諸団体、生産者の皆さまと連携を密にして、新しい知恵と創意工夫により各種施策を着実に推進していくことが重要であると考えております。本年も一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。年の初めにあたり皆様の御健勝と益々の御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

平成22年元旦 福井県丹南農林総合事務所 職員一同

丹南地区の環境にやさしい“こだわり米”

丹南地区では環境にやさしい農業への取り組みが盛んです。そんな中でも、農薬や化学肥料の使用量を減らして環境にこだわって生産している、いわゆる“こだわり米”を紹介します。

はじめに、新聞、テレビ等の報道でおなじみの越前市の「コウノトリ呼び戻す農法米」。コウノトリを呼び戻すために、えさとなる田んぼの生き物を増やそうと頑張っています。老舗の池田町では、「極」^{きくめ}、「匠」^{たくみ}、「真」^{まこと}、「舞」^{まい}と独自の認証制度で全町的に生命に優しい「池田の米」づくりに取り組んでいます。鯖江市でも、JA、市の支援のもと「さばえこだわり米」の生産を始めました。越前町では、越前田んぼの天使有機の会が「田んぼの天使」の名称で“こだわり米”を作っています。

生産から販売まで、様々な努力を積み重ねながら、食べる人、作る人、生き物すべてにやさしい米づくりを目指しています。皆さん、是非ご賞味ください。詳しくは、各JA、市町、農林総合事務所にお尋ねください。



「池田の米」田んぼの生き物調査



「田んぼの天使」



「コウノトリ呼び戻す農法米」in東京



「さばえこだわり米」収穫祭

平成22年1月1日
No.30

丹南農林総合事務所

越前市上太田町 41-5 TEL(0778)23-4545
丹生分庁舎 越前町内郡 14-36 TEL(0778)34-1790
URL <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/tan-noso/>
E-mail tan-noso@pref.fukui.lg.jp



健康長寿の福井



元気な森をつくろう!



あなたの山を診断しませんか!!

現在、手入れが遅れている山(人工林)が少しずつ目立つようになってきました。

手入れが遅れると、森林の多様な機能が十分に発揮されない状態になり、災害などの危険性が増すとともに、木材としての価値も低下します。

そこで、「自分の山がどのような状況にあるかを知りたい」というあなた。あなたの山に林業普及員が伺い、山の状況を診断いたします。

山がどのような状況にあるのかを数字で表示することにより、間伐などの施業が必要かどうかなどを判断できる「間伐カルテ」を作成いたしますので、関心のある方は、丹南農林総合事務所までご相談ください。



「間伐カルテ」の内容

- ・生育状況(本数、幹周り、木の高さなどの状況)
- ・望ましい森林状況、今後の手入れの方法
- ・補助制度など

低コスト林業への道 ～作業道の研修を実施しています!!～

人工林から効率よく(低コストで)木材を搬出するためには、作業道等を高密度に配置する必要があります。そこで、作業道等について、技術者育成を図るため研修会を開催しました。(平成21年10月14日開催の研修会の様子)



事務所の低コスト担当者が講師



研修の状況

研修会には、管内の森林組合、林業事業体のオペレータ、設計者など約20名が参加。今回は、作業道等を開設するための基本的な事項である路網の配置の仕方、開設の方法、補助事業の内容などについての講義を行いました。

次回は、現場での施工技術向上研修を予定しており、丹南農林総合事務所では、継続的に低コスト林業に向けた取組みを行っていく計画です。

コニーちゃんの造林事業よもやま話 第3話

○間伐を進めるために!

みなさんこんにちは!

前回森を元気にするためには、適度に木を切ること「間伐(かんばつ)」が必要ということをお話しました。

そのため、私たち丹南農林総合事務所では、実際に森林で作業をする人たち(森林組合など)への支援を通じて、この間伐を促進しています。

具体的には、間伐などの作業に必要な道(作業路といいます)をつくる事業体向けに、環境にやさしく災害に強い道をつくるための研修会を開催したり、森林組合が各地区・集落で行なう座談会に参加して、森林所有者さんに間伐への補助制度を分かりやすく説明する活動などを行っています。

このような取組みによって間伐が進み、緑豊かなふるさとを子どもたちへ残していけるよう、私たちは引き続き努力していきます。それでは、また、次回お会いしましょう!

(つづく)



コニーちゃん



高校生対象の間伐体験指導なども行っています

福井県特別栽培農産物認証申請書の受付が始まります ～ 21 年度の実績書のご提出も忘れずに～

福井県特別栽培農産物認証の申請の受け付けは、下記のとおりとなっていますので、申請を予定されている方はお早めにお申込ください。なお、21 年度に取り組まれた方は、実績書の提出もお願いします。

申請受付期間（予定）	申請対象作物	申請先
1 月 5 日（火）～ 1 月 29 日（金）	水稻、大豆、雑穀、 春・夏野菜、果樹、とう精、小分け	丹南農林総合事務所 農業経営支援部
6 月 1 日（火）～ 6 月 30 日（水）	麦、そば、秋・冬野菜、 とう精、小分け	

平成 22 年度に、農地・水・環境保全向上対策（営農活動支援）に取り組まれる方は、
県特裁申請の認証が要件の 1 つですので、申請忘れの無いようご注意ください。

《県では、福井米のエコファーマー化を推進しています》

環境への負荷をできる限り低減させて有機物の有効活用により自然循環機能を維持増進する、環境と調和のとれたエコ農業の推進のため、本県の主要農産物である米のエコファーマー化を推進しております。生産者の皆様のご理解と積極的な取り組みをお願いします。

★エコファーマー★

土づくりを行い、農薬と化学肥料を通常の栽培方法に比べて 20% 以上削減する生産計画を県から認定された農業者

★お問い合わせは★

丹南農林総合事務所農業経営支援部へ（越前町の方は丹生分庁舎技術経営支援課へ）



平成 22 年度の稲作技術対策（5 月 15 日以降移植の安定実施に向けて）

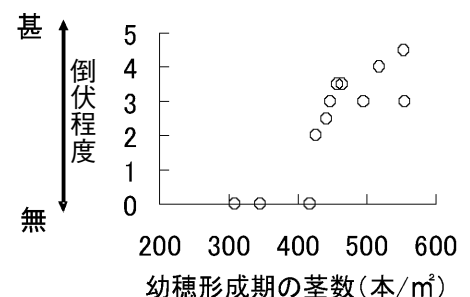
丹南地区の平成 21 年産米の 1 等米比率は高まったものの、昨年、7 月中旬～ 8 月上旬の雨により、稈長が伸び、倒伏圃場が多く見受けられました。平成 22 年度は、5 月 15 日以降移植（さつき半ばの適期田植え）が管内全域で実施されます。ポイントを理解し、収量、品質の安定に努めて下さい。

① 倒伏対策

平成 21 年度は、幼穂形成期の茎数が多いほど、倒伏程度が大きい傾向。

▶▶平成 22 年度、幼穂形成期の茎数を減らすためには

- ・ 1 坪当たりの植え付け株数を減らす。
- ・ 株当たり植え付け本数が多いなら、1 株当たり 3 ～ 4 本に。
- ・ 基肥窒素量（標準）：5 月 15 日～ 5 月 20 日移植で 2kg/10a、5 月 21 日～ 5 月 31 日移植で 1kg/10a



② 育苗対策

・・・育苗期の気温が、連休植えより 2℃ ほど高くなることから、

- ① 苗の徒長防止と根張り促進のため、床土が含む窒素量は従来の 1/2 ～ 1/3 (0.7 ～ 1g/箱) に。
- ② 育苗期間は 18 日ほどとなり、5 月 15 日移植の播種日は 4 月 29 日頃。
- ③ 苗出し直後に使用する被覆シートは、温度が上がりにくい「太陽シート」がよい。
- ④ 苗出し後のハウス管理でビニールの裾を上げる時期を早める（日中なら苗出し同時で可かも）。

③ 収穫対策

・・・収穫時期の 9 月上・中旬は秋雨が降る場合があり、収穫に支障のないよう、移植計画を立てて下さい。

◆平成 21 年選奨事業・農産物品評会等表彰

平成 21 年 12 月 5 日現在

受 賞 名	受 賞 者 氏 名
中日造林賞	越前町 佐々木 一郎
全日本学校関係緑化コンクール	越前町 越前町立宮崎小学校
全国植樹祭記念 福井県美しいふるさとづくり功労賞	越前町 越前町漁民の森を育てる会 越前町民運動推進協議会
全国育樹活動コンクール	越前町 越前町漁民の森を育てる会
造林コンクール	越前市 渡辺 貢 越前町 西野 哲治
野菜バスケットコンクール	越前市 藁 賀代子 南越前町 新谷 美智子
越前たけふ農業協同組合農林産物品評会	越前市 小嶋 卓敏 越前市 北島 藤助
農政功績者	越前町 駒野 多治右エ門
武生菊花コンクール	越前市 角 清
優良担い手表彰	越前町 山寄 繁信・美枝子
毎日農業記録賞	池田町 後藤 宝
北陸農政局男女共同参画優良事例表彰	越前町 寺坂 律子
今庄特産するし柿品評会	南越前町 中沢 茂 南越前町 中沢 則明
たんなん農産物共進会	鯖江市 熊野 昭寛 鯖江市 栗田 信夫

※掲載は表彰日順となっています。

◆平成 21 年丹南農林管内トピックス

- 1 全国植樹祭が福井市一乗谷朝倉氏遺跡で開催。丹南会場は総合植物園プラントピアで、林業後継者大会も越前市にて開催
- 2 コシヒカリ復活元年（「さつき半ばの適期田植え」「エコ農業」「1.9 ミリ網目交換」の推進）
- 3 福井米の品質向上と更なる飛躍に向けた体制整備
- 4 「コウノトリ呼び戻す農法米」ブランド発信
- 5 水仙球根改植ボランティア参加者が過去最高の350人に！！
- 6 植樹祭を契機とした県民運動の輪が広がる（フットパス、マラソン、花と緑にあふれたふるさとづくりなど）
- 7 地産地消の拡大のための広域集出荷システム稼働開始（直売所：百姓の館、四季菜、丹生膳野菜）
- 8 県内初のストックマネジメント（土地改良施設の長寿命化）方式による松ヶ鼻頭首工の改修に着手

林道で健康的な汗を！ 林道マラソン&ウォーク開催

平成 21 年 11 月 1 日（日）、「林道マラソン&ウォーク in 越前市」が開催されました。越前市金華山グリーンランドを発着点とする「マラソン」には県内外から 61 名の参加をいただき、アップダウンのある 11.6km のコースで健脚を競い合いました。

また、坂口公民館から金華山に至る約 6km の「ウォーク」には、家族連れなど 158 名が参加され、美しい紅葉の中、さわやかな秋風を感じながらウォーキングを楽しみました。また、道中での間伐作業見学では、杉の木が倒れる様子に大きな歓声があがっていました。



林道を駆け抜けるランナー



自然を満喫したウォーク



ふっくらんも飛び入り参加



新聞やテレビで、県的情報をキャッチ！

- 新 聞 「県からのお知らせ」（毎月 1 日、15 日に掲載）
- テ レ ビ 「おはようふくい 730」（日曜 7:30～8:00/FBC）
「ほっとふくい」（1・3 土曜 17:00～17:15/ftb）
「まちかど県政」（日曜 11:45～11:50/FBC 16:55～17:00/ftb）
- 広 報 誌 「グラフふくい」（毎月 10 日発行）

※ラジオやインターネットでも提供中

詳しくは、福井県広報課 TEL.0776-20-0220 までどうぞ

今年の冬は口ハスな生活！ 暖かな地産地消はいかがですか？

暖かい火のゆらぎを家族で囲んでみませんか ～木質ペレットストーブ～

木質ペレットストーブは、木くずを固めた木質ペレットを燃料としたストーブです。

おしゃれな
ペレットストーブ



木質ペレットストーブのいいところ

- 『地球にやさしい』 化石燃料と違い再生可能な資源である木材を使用しています。
- 『人にやさしい』 燃焼にともなう排出ガスに含まれる硫酸化合物等が少なく、空気を汚しません。
- 『家族にやさしい』 ゆらゆらと燃える火の光は、家族団らの場を提供し、見ている家族の心を癒します。



木製ペレット

丹南地域には、県産材を活用した木質ペレットの製造販売会社（本年度より販売開始）、木質ペレットストーブ販売会社があります。今年の冬を前に一度ご検討されてはいかがでしょうか？

鍋物やバターいために最適 ～越前カンタケをつくってみよう～

越前カンタケは、池田町の山中に生えていた野生のヒラタケから選抜育成されたキノコです。11月から3月までの気温の低い時期に発生することから「寒い茸」と書いてカンタケと呼ばれています。

栽培方法はとても簡単。オガ粉等から作られた菌床（きんしょう）をプランターにセットし、乾燥を防ぐために土を詰めて数日おきに水やりするだけです。家庭でも手軽に栽培できますので、来年、カンタケ栽培に挑戦してみたい方は、丹南農林総合事務所までお問い合わせください。

小学校でのカンタケ教室のこの勉強をしています



越前カンタケ

ビタミンB1・B2、繊維質のほか、うまみ成分であるアラニンが多く含まれ、ヘルシーでとても美味しいキノコです。



プランターでカンタケ栽培

丹南地区農業農村整備事業推進協議会 研修会を開催

10月21日（水）、越前市文化センターにおいて、管内の土地改良区及び市町の担当者を対象に約90名が参加し、「平成21年度 丹南地区農業農村整備事業推進協議会 研修会」が開催されました。

今回の研修では、土地改良区の組織運営基盤の強化、統合整備の促進、施設管理組織の再編等への取り組み意識が高まるよう土地改良法の基本理念等について併せて研修することで、会員の資質向上と丹南管内の農業農村の振興を図ることを目的として実施いたしました。

また全国水土里ネット 茂木参与様には「農業農村を取り巻く情勢と土地改良区の役割」について講演していただいたところ参加者の方々から好評の感想が得られました。

今後も参加者からのご意見も踏まえ、質的向上を目指し興味深い研修となるように工夫したいと考えています。



研修会の様子

米選別機の網目1.9mmへの交換はお済みですか？

大粒化による福井米の品質向上を目指す福井県では「福井コシヒカリ復活プロジェクト」の一環として、各JAと一体となって倉前出荷農家への米選別機の網目1.9mmの交換を推奨しています。

他産地との競合に打ち勝つ米づくりを進めるため、農家の皆様のご理解と積極的な取り組みをお願いします。

詳しくは、最寄りの各JAでお聞きください。

規模拡大を目指す園芸プロ農家を応援してます！

丹南地区雇用園芸セミナー

日時：平成21年8月19日 場所：JA福井市河合支店 丹南地区の園芸農家7名参加

I 座談会：福井市高屋町 田谷満氏(施設野菜)

現地研修：福井市山室町 中橋精一氏(ハウス軟弱野菜)

雇用を導入した経営内容や栽培方法、雇用者の募集方法や仕事内容と配置の工夫などについて、具体的にお話を伺いました。参加者は、実際に自分の経営に活かすことができるヒントをもらったようです。

II 専門家による研修

中小企業診断士 津田均氏(経営ビジョンの企画立案手法)

社会保険労務士 廣瀬廣幸氏(人材を確保するために必要な知識・手続)

経営ビジョンづくりや分析方法、雇用側が整備すべき社会保険や労働契約等の考え方を学び、専門家からアドバイスを受けて、参加者は雇用導入による園芸の規模拡大について考える契機になったようです。



現地研修

規模拡大プラン審査会

日時：平成21年10月29日 場所：すいせん研修館

越前町左右の佐藤明大氏の提出した「スイセンの規模拡大プラン」が、審査会で認定されました。

佐藤氏の規模拡大プランは、経営方針が明確で、将来像と今後の取り組みについて、越前町のスイセン産地の状況と自分の経営とを併せて考えているところが高く評価されました。

今後は、設定されたプランの実現に向けて、関係機関が連携して支援していく予定です。



規模拡大プラン審査会

“2009 丹生ふれあいまつり”



木工教室の様子

平成21年11月14日(土)丹南農林総合事務所丹生分庁舎前(越前町)で、恒例の「丹生ふれあいまつり」が開催されました。丹生農業士会や丹生郡ふるさと活性化協議会などによる野菜即売、木工教室や寄せ植え講座など、たくさんのコーナーが設けられ、生産者と消費者がふれあいながら親交を深める一日となりました。

また、今年は“エコ農産物まつり”も同時開催され、展示された米やホウレンソウなどのエコ農産物は、来場された方々にビンゴゲームの賞品として提供され、人気を呼びました。

ハウス利用スイセンコンテナ栽培の生産拡大

越前スイセンは、京阪神市場を中心にブランドとして定着しており、生花市場からは200万本以上を長期出荷(10月～2月)してほしいとの要望があります。しかし、急斜面に栽培されていることや収穫作業が寒い時期になることから、新規の栽培者が育ちにくい状況でした。

このため、水稻育苗ハウスを活用したスイセンコンテナ栽培の調査研究を行い、スイセンのコンテナ栽培は稲作と労働競合しないため、大規模水稻農家や生産組織でもスイセン栽培との複合経営は十分可能であることがわかりました。これをもとに、水稻生産組織等に対して普及・拡大を図り、昨年越前町では12棟(6a)のハウスでコンテナ栽培が行われるようになりました。

生産者からは「ハウスが一年中使えるので効率的である」と大変好評であり、また、コンテナ栽培はモミガラを使うので軽くて作業が楽であることから、今後も生産者や栽培面積が増加していくそうです。



コンテナをハウスに並べた様子